

## 謹賀新年

ありがとうの力 建学の精神「感恩」

### Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- Tama Project 2017  
～「高校新校舎竣工披露」「大学開学20周年記念」～
- 待望の高校新校舎 完成間近
- 大学 公開講座 開催報告
- 大学・短大 高校生論文コンクール表彰式
- 大学・短大 第13回美葉祭
- 高校 学園祭
- 高校 クラブ活動報告
- 幼稚園 運動会
- 幼稚園 卒園生・新入園児 招待保育
- 平成29年度地域連携公認プログラム
- 第8回柏原市民総合フェスティバル
- 学園をもっと知ろう！（第2回）  
～江端文行名誉理事長のこと（その1）～
- 学校法人玉手山学園 経営理念
- 大学「感恩」研究会の紹介
- スタッフ紹介
- ストレスチェックの実施について



### 建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている  
 この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって  
 人の幸せを願い 行動するとき 私たちは社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から  
 新しい「ありがとう」が生まれる～



巻頭 理事長あいさつ

# ありがとうの力 建学の精神「感恩」



## 謹賀新年 Tama Project 2017 をみんなで楽しむ

学生・生徒・園児、保護者そして教職員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまは「夢と志」を育てるために、西年(2017年)をどのように過ごしますか。軸が“ぶれずに”、手応えのある1年になりますようお祈り申し上げます。

今春、関西福祉科学大学は開学20周年を迎えます。そして新たな“高校の顔”、“夢と志の象徴”となる堂々の8階建て校舎がその姿を現します。この喜び・感謝を学園全体で共有するために、卒業生や地元の人たちも楽しめる、ワクワクする“オモロイ”ことをやってみたい。“みんなで”楽しめたら学園のみんなも豊かな気持ちになり成長できます。学園の若手教職員でプロジェクトチームを編成し企画を練っています。それがTama Project 2017です。乞うご期待! 学園は2017年もますます元気です。(4ページに関連記事)

## 夢と志を育てる…には

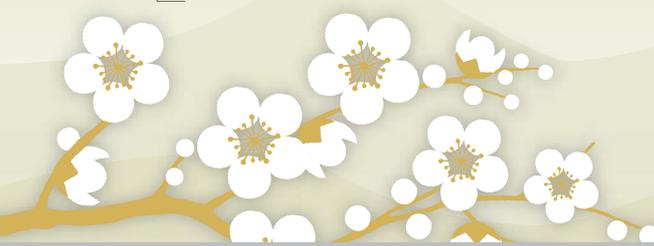
の回答は14ページ下に

学園は  に近づくところ  とはなりたい自分  とは夢に近づくための頑張る

その 、本 、やる  になること この  に来たら 、 が出てきた

になれるものが見つかった ・ の体験が夢と志を育てます

それが玉手山学園の 、そんな学園を目指し続けます。



## 保護者や教員 上司は 若者(子ども、部下)の夢を喰う“バク”になる？

保護者(親)や教員そして上司は、若者の可能性を信じ、「夢と志」を育てるために若者に接しています。しかし、若者に失敗させたくない、大切にしたいと思うあまりに、ときに気づかぬうちに夢を育てるところか、その夢・志を萎えさせ打ち砕いてはいないでしょうか。たとえば自分の了見を超える、あるいは想像もつかぬことを我が子が言ったら…どうするか。予想される困難や否定的な見解を並べたて、そして言うってしまうかもしれません。“現実には厳しい、泣いても知らないぞ、無理やめとけ!...”と。若者には夢と志を育て、その達成に向けてチャレンジしてほしい、失敗しても生き生きとしてほしい。でも不幸になってほしくはない。難しいバランス感覚、悩ましい判断です。志がしっかりとしていれば、喰われることなく夢は確かな目標となります。たとえその目標が達成できなくとも…悔いることなく恥することなく、新たに歩んでいきたいものです。



Halloween (2016.10.31理事長室)  
今年も来てくれてありがとう



高校生論文コンクール  
理事長賞(内部高校) 豊かな心を磨いてください

## 「感恩」研究会…という集まり 自分流の「感恩」を

「理事長にインタビューをさせてほしい」という学生たちの声で、「感恩」研究会を知りました。この研究会は2016年5月に発足しました。現在10名の学生が所属しています。私の知る限りでは学園始まって以来、建学の精神「感恩」をテーマとした初の学生たちの集まりです。私の心は躍りました。どうして「感恩」なのか…と、メンバーの学生たちに逆インタビューをしました。彼女たちは各々の心に残る感謝の経験(ありがとう)を持っていました。そしてありがとうの持つ力・魅力を強く感じていました。もっとそれを大きく確かに育て形にして、多くの人に広めたい、そんな純粋な思いが発足の動機でした。私は「真っすぐで豊かな心を持っている、なかなかやるな!」と、学生たちを頼もしく愛おしく思いました。自分流の「感恩」を育ててほしい、心からそう願います。(15ページに関連記事)



「感恩」研究会の展示(2016秋 美葉祭)をバクに  
自分流の「感恩」を育ててください

## “どなたでもどうぞ”の避難所運営 若者(学生)の力なくしては成り立たぬ

2016年4月に熊本地震が発生し、直後に熊本学園大学で避難所運営が始まりました。高齢者やしょうがい者を積極的に受け入れる“どなたでもどうぞ”という基本姿勢が評価され話題となりました。昨秋、そのシンポジウムに参加しました。彼らは「当たり前のことをしただけ」と言います。しかし現実には膨大な対応事があり、若者(学生)たちの献身的な奉仕活動がなければ、到底運営はかなわなかった(学生たちはやれる、頼もしい)と何度も述べていました。と同時に、ときに私たちは普段、若者たちのマイナス部分だけをぼやいてはいないかという思いもよぎりました。若者は、大きな力そして未来の宝物です。このことを改めて痛感させられました。玉手山学園の若者も全く同じであるということを、私たち学園教職員そして保護者の皆さまも決して忘れてはなりません。

“どなたでもどうぞ”という基本姿勢を貫き通した熊本学園大学の原動力となった学生たちに敬意を表します。そんな学生たちを支えたのは“ありがとう”の言葉、力だと思えます。



熊本学園大学シンポジウム(2016.11.6) 刺激を受けました



恩 感

理事長・学園長 江端 源治

# Tama Project 2017 はじめました

法人本部 経営企画室 後藤 知寛

玉手山学園では、Tama Project 2017をはじめました。2017年4月に嬉しい出来事が2つ、同時に訪れます。1つめは、関西福祉科学大学高等学校の新校舎が竣工し、新たな学び舎として加わります。2つめは、関西福祉科学大学が開学20周年を迎えます。いずれも、当たり前のことではありません。教職員の“良質な教育”を提供したいという気概と、その気持ちに応じて学生・生徒・卒業生が活動してきた賜物と言えます。

この素晴らしい出来事を、感謝を、喜びを、みんなで分かちあいたい。みんなとは誰でしょう。大学生・高校生に併せて、関西女子短期大学生・関西女子短期大学附属幼稚園児・OB・OG・保護者やご家族の方々など学園に関わるみなさん、地域住民の方々、そして学園の教職員が一体となって盛大にこの記念を祝したいと考えています。そんな“みんなが楽しめる企画”を考えるプロジェクトチームを立ち上げ、「Tama Project 2017」と称し、活動中です。来年度は、みんなが元気になるプログラムを、元気に提供いたします！



関西福祉科学大学 開学20周年



関西福祉科学大学高等学校新校舎 上棟式

## ..... Tama Project 2017メンバー .....

### 関西福祉科学大学

健康福祉学部 健康科学科 木村 貴彦  
保健医療学部 リハビリテーション学科 柳野 浩司

### 関西福祉科学大学高等学校

教諭 中村 陽平  
教諭 藪田 純一  
職員 芹原 正子

### 関西女子短期大学

歯科衛生学科 花谷 早希子

### 関西女子短期大学附属幼稚園

教諭 中村 斉子  
教諭 松本 敦司  
教諭 島山 由佳理

### 大学・短大事務局

大学事務局 総務部 弓本 教正  
大学事務局 入試広報部 金谷 浩徳

### 学校法人玉手山学園

法人本部 経営企画室 後藤 知寛

本件のお問合せ先 法人本部 経営企画室 後藤 (代表番号:072-978-6661)

# 待望の高校新校舎 完成間近

法人本部 施設部 田堀 富造



上棟式:生徒会長による紙紮の儀



上棟式:関係者による曳綱の儀

平成28年3月24日に地鎮祭を起工し工事に着手した新校舎建設工事は、12月で早や9ヶ月が経過しました。

9月24日には、高校生徒会にも参加いただいて鉄骨建方上棟式を挙行し、関係者全員で無事故完成を祈念いたしました。10月には、外部足場が架設され、外観が見えなくなりましたが、現在内装工事の真っ最中です。1月末には、外部足場が解体され、いよいよ校舎の外観がお目見えするので、楽しみにお待ちください。

各教室の机・イスの形状・色合いや2階のラーニング commons のレイアウトなども概ね確定しました。各教室には、最新の電子黒板機能付きのプロジェクターを装備し、ICT教室ではタブレットを使用した授業環境を整備しています。

4月の校舎完成の折には、内覧会を企画したいと思っておりますので、ぜひご覧ください。



校舎外観完成イメージ



教室内観完成イメージ



# 関西福祉科学大学

## 第14回公開講座を開催しました。

大学 リハビリテーション学科 重森 健太

10月23日(日)、関西福祉科学大学 第14回公開講座を開催しました。

まず、講座に先立って、柏原市の課題と学園の資源をマッチングさせることの重要性をお伝えし、「公開講座もその機会の一つである」ことを参加者に認識していただきました。今回の講座では、「ライフステージを見据えた発達障がいに対する理解と支援」というテーマで、リハビリテーション学科の大歳太郎教授より実践例も踏まえた講座が行われました。参加された方々と、「発達障がい児・者に対する支援に関する認識」を共有することができたと思います。



開会の辞: 重森健太地域交流委員長



講演: 大歳太郎教授

関西福祉科学大学・関西女子短期大学 主催

## 高校生論文コンクール表彰式・懇親会を行いました。

大学・短大 入試広報部 西岡 奈津美

10月29日(土)、関西福祉科学大学・関西女子短期大学にて第10回高校生論文コンクールの表彰式および懇親会を行いました。当日は遠方にも関わらず7名の入賞者の皆様にお越しいただきました。

表彰式では関西福祉科学大学八田学長から表彰状、記念品の授与が行われ、最優秀賞の太田彩子さんの作品がご本人より朗読されました。

表彰式終了後の懇親会では、関西女子短期大学大嶋学長の挨拶で始まり、終始和やかな雰囲気懇親を深めていただきました。

人の幸せを願う関西福祉科学大学・関西女子短期大学では、今後も多くの高校生のご参加をお待ちしています。



# 第13回美葉祭

大学 学生支援センター 小林 真郎



10月29日(土)、30日(日)の2日間に渡り、恒例の大学祭(美葉祭)が開催されました。今年度は13回目の開催のため「秋だ!ハロウィンだ!13(ひとみ)を輝かす美葉祭だ!」と銘打ち、メイン/サブステージでの仮装コンテストや各ステージイベント、各種模擬店やフリーマーケット、移動動物園、各クラブ、サークル等団体による館内イベント、短大各学科によるキッズコーナーやバイタルチェックコーナーなどが華やかに行われました。

また、芸能人ゲストとしてアキナ、和牛、シンクロックを迎えての吉本お笑いライブ(29日)、若手俳優の本郷奏多さんのトークショー(30日)が開催され、多くの観客の皆さんを魅了し大いに盛り上がりました。

今年度は両日ともに良い天候に恵まれ、約2,100名の来場者を迎え、盛況の中無事終了しました。

29年度もよりパワーアップして開催いたしますので皆さんもぜひご来場ください。



# 『Shiny～光り輝くみんなの背中～』

高校 小森 泉

今年度の学園祭のテーマです。代議委員会を通じて全校生徒に公募し、生徒会役員で選考して、このテーマに決定しました。このテーマに沿って1学期から企画をし、夏期休業中も登校して、準備や練習をしている姿が多く見られました。本校では文化祭と体育祭を合わせて学園祭とし、生徒会活動の中心に位置付けています。

文化祭1日目、前日祭は今回から、それまでのクラブの舞台発表を鑑賞するスタイルから、外部のプロの演技者を招いて鑑賞するというものに大きく内容を変更しました。「徹底的にエンターテインメント」と題して、“ロボットのぞみ”“小福山雅治”“しよぎょうむじょうブラザーズ”の3組のパフォーマンスを鑑賞しました。

文化祭2日目の本祭は天候にも恵まれ、多くの方々が来校されました。高校の新校舎建設工事に伴い、いろいろな制約がある中で開催でしたが、今回の特徴は、大型の体験型の展示が増え、昨年以上に子供から大人まで楽しめるものが目立ちました。締めくくりは恒例にもなってる3年生の生徒有志と先生方の有志による歌とダンスが披露され、生徒たちの割れんばかりの拍手が飛び交い、大いに盛り上がったエンディングとなりました。

文化祭に引き続き、学園祭の締めくくりとして体育祭が開催されました。体育祭は「大阪府立体育会館」での実施となりました。本校では初めて外部の体育館を借りきっての実施ということで、企画、そして準備の段階から生徒たちや先生方の知恵を結集し、本番の日を迎えることが出来ました。初めての体育館実施のため戸惑うこともありましたが、全員が精一杯の演技を見せてくれました。本校伝統の3年生女子による創作ダンス、そして3年生男子による集団行動は、練習成果がよく表れ、見る者を釘付けにしました。全員で作りに上げた体育祭でした。一生懸命走り、演技し、笑顔があふれ、楽しく充実した1日となりました。

## 文化祭



## 体育祭





# 平成28年度2学期 クラブ活動報告



高校 小森 泉

前号に引き続き、11月現在もクラブ活動において、素晴らしい成績をあげていますので、その報告をさせていただきます。

## なぎなた部

第71回大阪高等学校総合体育大会なぎなた競技

団体の部:第2位

個人の部:優勝

第29回大阪私立高等学校なぎなた大会

団体の部:第2位

個人の部:優勝

演技の部:優勝

第29回近畿高等学校なぎなた選手権大会 大阪府予選会

団体の部:第3位

個人の部:第3位

\*平成29年2月に行われる近畿大会に出場決定

## 日本拳法部

第71回大阪高等学校総合体育大会

団体戦 女子:準優勝

個人戦 男子:準優勝

女子:第5位

第63回大阪私立中学校高等学校体育大会

団体戦 男子:第3位

女子:第3位

第15回大阪高等学校秋季日本拳法新人大会

兼第21回全国選抜大会団体予選

団体戦 男子:準優勝

女子:準優勝

\*男女ともに平成29年3月に行われる全国選抜大会に出場決定

第21回西日本高等学校日本拳法選手権大会 予選リーグ

\*優秀な成績を収め、団体男女ともに平成29年4月に行われる決勝戦の進出が決定

## 美術部

第65回大阪私学美術展

(兼:大阪私立中学校高等学校芸術文化祭典)

工芸部門 奨励賞2点

テーマ部門 奨励賞1点

イラスト部門 奨励賞1点

### 題名「草木いろいろ」

ハナミズキ・茜・きはだ・紅茶などで染液を作り鉄・銅・アルミ・チタンなどで媒染しパネル仕上げにした力作です。



## バドミントン部

大阪高等学校総合体育大会 バドミントン競技の部

学校対抗の部 男子:第3位

女子:第3位

単の部 男子:優勝、第3位

女子:優勝、準優勝

複の部 男子:準優勝、第3位

女子:優勝

近畿高等学校バドミントン選手権大会 大阪府予選会

優秀な成績を収め、男子2名、女子6名が近畿大会出場を決める(大阪府門真市)

全国私立高等学校選抜バドミントン大会(神奈川県)

学校対抗の部 男子3年連続4回目の出場

全国高等学校選抜バドミントン大会 大阪府予選会

学校対抗の部 男子:第3位

女子:第3位

\*男女とも12月の近畿大会に出場決定



## 卓球部

第69回 大阪高等学校新人卓球大会

学校対抗の部 女子:ベスト8

シングルス 女子:ベスト16(2名)

ダブルス 女子:ベスト8(1組)、ベスト16(2組)

第71回大阪高等学校総合体育大会

卓球の部 女子:ベスト4 \*12月の近畿大会に出場決定

男子:ベスト16





# 「運動会」



幼稚園 川崎 紅実



10月10日(月・祝)に運動会を行いました。当日はお天気に恵まれ、子どもたちのキラキラ輝いた笑顔とともに開会式が始まりました。年少児は特にお遊戯が可愛らしく、ドキドキながらも楽しんでいました。年中児は跳び箱、マット等の体育遊具に取り組み、ひとりひとりが胸を張ってゴールしていました。年長児は難しかった組体操に真剣に取り組み、本番では自信をもって演じることができました。

今年度は雨が多く、戸外での練習がほとんどできなかったので本番を迎えるまで不安もありましたが、子どもたちはそれをものともせず、力を合わせて頑張る姿に大きな成長を感じました。



## 卒園生・新入園児招待保育 「おかえりなさい!いらっしやい!!!」

幼稚園 村井 恵

幼稚園では毎年運動会に、3月に卒園した卒園生と翌年4月から幼稚園に入園する新入園児を招待して参加するプログラムがあります。今年度は運動会に招待することができなかったため、新たに日を設けて招待保育を行いました。久しぶりに来園した卒園生は「久しぶりの幼稚園や!」「わあ!僕の先生がいた!」と元気いっぱい、対照的に新たに来てくれるお友達はお母さんの手をしっかりと握り、中には抱っこされている姿もちらほら見えながら…。それぞれ楽しんでくれたことと思います。

来年、どういう形になるかは未定ですが、卒園生にもこれから入ってくるお友達にも楽しんでもらえるよう工夫していきたいと思っています。



# 平成29年度 地域連携公認プログラム

法人本部 地域連携センター センター長 重森 健太

玉手山学園地域連携協議会において、以下の54件が平成29年度地域連携公認プログラムとして認定されました。  
地域連携公認プログラムとは、『地域の課題・ニーズに沿ったプログラムであり、地域に役立ち、学生・生徒・園児の成長を促す組織的な取り組み』です。

社会に愛され成長する学園となるため、地域連携公認プログラムを通じ、「ありがとう」に出会い気づき、感動感謝の行動から、新しい「ありがとう」が生まれることを望んでいます。

## ■大学20件

No.	主管部署	プログラム名称
1	社会福祉学科	柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクト
2		地域の社会資源と連携した認知症カフェの運営
3		柏原市子どもの学習支援事業「まなび家ほのぼの」
4	心理科学科	学齢期家庭教育面談会
5		柏原市スタディ・アフター・スクール事業
6	健康科学科	日本赤十字社救急法救急員養成講習
7		学校園の健康診断ボランティア
8	福祉栄養学科	地域社会で普及可能な健康食の開発と栄養サポートプログラムの構築
9	福祉栄養学科 健康科学科	'17食博覧会・大阪 参加
10	保健医療学部	健康フォーラム 診療所を利活用した地域貢献プログラム
11	理学療法学専攻	学生を中心とした地域住民に対する体力測定会
12	理学療法学専攻 作業療法学専攻	奈良市総合医療検査センター リハビリ教室
13	言語聴覚学専攻	耳の聞こえの検査
14	教育学科	学生スクールボランティア
15	心理・教育 相談センター	子育て上手の心理学
16	心理・教育 相談センター	発達チェック
17	大学図書館 心理科学科	夏休み宿題教室
18	地域交流委員会	地域の課題に応じた生涯学習事業 (公開講座、出前講座など)
19	地域交流委員会	柏原市子育て支援プログラム
20	学生支援センター	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る機運醸成を目指したボランティア活動の展開について

## ■高等学校4件

No.	主管部署	プログラム名称
41	バレーボール部	玉手山学園スポーツ教室 バレーボール
42	卓球部	玉手山学園スポーツ教室 卓球
43	教科教員	柏原市青年講座 理科(ペットボトルロケット作り)
44	教科教員	柏原市青年講座 社会(勾玉作り)

## ■幼稚園4件

No.	主管部署	プログラム名称
45	幼稚園全体	消防出初式
46	幼稚園全体	園庭開放
47	幼稚園全体	子育て相談室(仮称)
48	幼稚園全体	中学生職業体験受け入れ

## ■短期大学20件

No.	主管部署	プログラム名称
21	短大全体	季節のお茶会を楽しみましょう
22	保育学科	関西女子短期大学「合唱講座」
23		保育学科 保育フェスタ:第15回定期演奏会
24		保育フェスタ造形作品展及びこどものためのアートワークショップ
25		多胎児子育て支援「ジュモ」
26		保育学科 和太鼓パフォーマンス
27		国分図書館との連携活動 おはなし会
28		社会的福祉事業の活動に参加する(1)
29		社会的福祉事業の活動に参加する(2)
30		社会的福祉事業の活動に参加する(3)
31		養護保健学科
32	学校教育活動支援ボランティア	
33	関女上級救急講習会	
34	関西養護保健フォーラム	
35	歯科衛生学科	小学生に対する歯磨き支援
36		親子ではッピーフェスタでの口腔支援活動
37		ほっとステーションにおける歯磨き講習会
38		高齢者施設等における口腔に関する健康支援
39	ハイリスク高校生を対象とした「歯磨き教室」	
40	医療秘書学科	アニマルセラピー講座

## ■法人本部6件

No.	主管部署	プログラム名称
49	法人本部	原川 桜のライトアップイベント
50	法人本部	柏原市民総合フェスティバル
51	法人本部	地域避難訓練
52	法人本部	中学生バレーボール大会(理事長杯)
53	法人本部	柔道練成会(理事長杯)
54	法人本部	玉手山学園吹奏楽団 K'sコンサート

# 第8回柏原市民総合フェス

法人本部 地域連携センター 藤井 亮佑

清々しい小春日和に恵まれた11月5日(土)、今年で第8回目となる柏原市民総合フェスティバルが柏原市役所前河川敷公園で開催され、2万人を超える多くの方々が来場されました。今回の市民総合フェスティバルでは、4月14日に端を発した「熊本地震」において大きな被害が出ていることから、被災地への復興支援と地域の活性化を図っていくことを目的とすることが掲げられました。本学園は商工まつりブースへの出展とステージイベント出演、河内音頭おどり全国大会、フェスティバル運営ボランティアの4つに参加しました。



熊本復興支援に向けた寄書きの贈呈(江端理事長)



運営ボランティアの様子(防災コーナー)

出展ブースでは、大学の理学療法学専攻の学生による体力測定を実施し、120名を超える多くの皆様に参加いただき、学生が直接参加者の皆様に体力測定を実施するという、普段の授業では経験することができない貴重な体験をさせていただきました。また併せて大学の附属総合リハビリテーション診療所の案内も行い、大きな反響がありました。

ステージイベントでは、大学、短期大学、高等学校から全7団体が参加し、学生・生徒が日頃練習している演目を、皆様の温かいご歓声の中で披露できる特別な機会をいただきました。河内音頭おどり全国大会では大学生が参加し、デザイン性の優れた浴衣を着用したグループに贈られる特別賞の「ベスト・デザイン賞」を初めて受賞しました。



ブース出展の様子(理学療法学専攻)



ボランティアコミュニティWa!(大学)

# フェスティバルに参加しました!



フェスティバル運営ボランティアでは、大学生と短期大学生のバレーボール部員に協力いただき、運営のサポートをお手伝いさせていただきました。学園の使命である“建学の精神「感恩」を心得 実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる”ことを学ぶ学生たちが、地域の子もたちや多くの人々が楽しくフェスティバルに参加できるようにと運営をサポートした経験は、今後各専門分野を学ぶ中でも貴重な経験になったのではないかと思います。



ダンスパトロン部(高校)



和太鼓部 鼓魂(短大)



ダブルサークル BBC(大学)



ダブルダッチサークル(大学)



吹奏楽部(大学)



ダンス同好会 Link(大学)



沖縄県人会(大学)

# 学園をもっと知ろう!(第2回)

## ～江端文行名誉理事長のこと(その1)～

法人本部 経営企画室 植田 陽

第1回では、創設者である山田藤一氏の浄財により昭和17年に学園が産声をあげたこと、また建学の精神「感恩」の由来についてお話いたしました。次は2回にわたって学園の中興の祖であり、私たちがめざす「夢と志を育てる学園」に大きな影響を与えた故江端文行名誉理事長(以下名誉理事長)と、教育にかけた熱き想い、考えに触れてみたいと思います。

名誉理事長は今から45年前の昭和46年に、私学ならではの独自の教育を実践したいとの熱い想いで本学園に着任し、経営者の第一歩を踏み出されました。当時はまさに第一次生徒急減期の冬の時代、生徒募集に苦しむ学園を支えながら昭和51年理事長就任後も高等学校の生徒募集に東奔西走の毎日を送りました。教職員の実直な教育実践と、そうした必死の努力の甲斐があって学園は危機を脱し、現在の無借金経営の基盤を固めることができました。

名誉理事長はその時生徒の来ない学校がどれほど不安で淋しく、学校らしさをなくすかを身に沁みて感じ、二度とこのような体験をしたくないと心に誓いました。そして名誉理事長の学生・生徒・園児本位の考え方が誕生したのです。授業は真剣勝負……とよく口にされていました。そしてその基本理念、信念のもと具体的な学園運営方針を次のようにまとめました。



名誉理事長



名誉理事長  
銅像の写真 学園本館1F

- ① 全学園を極力同一敷地内で運営すること
- ② 建物、施設、設備は時代の流れに沿った内容に整えること
- ③ 学園運営の組織、制度、システムは学生本位の経営方針に沿ったものであること
- ④ しつけ教育と知識技能教育は車の両輪でありバランスある教育を推進すること
- ⑤ 職業能力付与の見地より実習・実技を重視した教育にも力を注ぐこと

平成元年、学齢人口ピークのころでした。

今回はそれぞれにこめられた熱い想い、考え方について具体的に紹介したいと思います。

私が中学生のころ、父(江端名誉理事長)は深刻な経営難の玉手山学園にその人生を投じました。45歳のときでした。家族や親戚中が“大丈夫か”とたいへん心配したと何度も聞かされました。今、私は父に感謝しています。よくぞこの学園を元気にしてくれましたと。

父の志を引継ぎ「夢と志を育てる学園」をめざし実直に教育に邁進いたします。  
理事長・学園長 江端 源治

恩 感

2ページ下の  
回答

学園は **夢** に近づくと **夢** とはなりたい自分 **志** とは夢に近づくための頑張る **エネルギー**

その **気**、本 **気**、やる **気** になること この **学園** に来たら **元気**、**やる気** が出てきた

**夢中** になれるものが見つかった **感動**・**感謝** の体験が夢と志を育てます

それが玉手山学園の **ブランド**、そんな学園を目指し続けます。

## 建学の精神 「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている  
 この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって  
 人の幸せを願い 行動するとき 私たちは社会に貢献できる  
 ～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から  
 新しい「ありがとう」が生まれる～

## 使 命

建学の精神「感恩」を心得 実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる

## 綱 領

1. 学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす  
 その教育実践により 学園職員も豊かになる
2. 教育人としての自覚のもと 自己の能力および人格の向上に努め その  
 使命を誠実に遂行し 未来を拓く「知」を継承 創造する
3. 各校園は 伝統を重んじ 教育理念のもと 具体的な教育目標を掲げ  
 常に改革の意識をもって 創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集  
 する
4. 継続 発展を支える確かな組織力と健全な財政基盤の確立に努める

## ビジョン

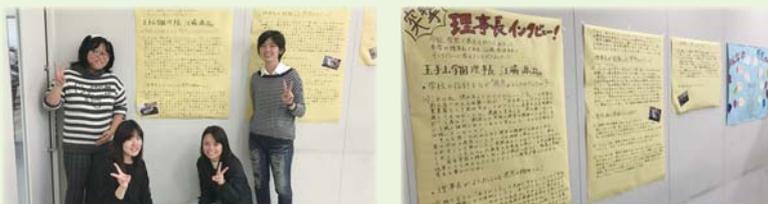
### 【玉手山学園がめざすもの】

1. 夢と志を育てる学園  
 ～笑顔 あいさつ 優しさを大切に～(学園ブランドの確立)
2. 学園教育力の向上  
 ・教育の質向上(学修成果・修学成就の向上)  
 ・組織拡充  
 ・4 校園体制堅持と発展(大学 短期大学 高等学校 幼稚園(子育て支援))  
 ・健全収支
3. 地域貢献 社会に愛され 成長する学園
4. 教育環境の充実(安心 安全 快適 ECO)
5. 学園総合力の向上  
 ・各校園の相互協力(学園ファミリー意識)

## “感恩”研究会を紹介します。

法人本部 経営企画室 植田 陽

辛い受験勉強のなか、自分の夢の実現を温かく見守り応援してくれる周囲の人々の厚意に触れ、感動・感謝を実感した関さん、人にだけでなく、モノに感謝することで自分が成長することに気づいた畑さん、そんな二人が学内で出会って意気投合、昨年5月に感恩研究会(同好会)を立ち上げました。顧問は社会福祉学科遠藤和佳子教授。現在部員は10名、週一回のペースで元気に活動中。女子部員が多く男子部員も絶賛募集中だそうです。二人を巡り合わせた不思議な力に「感恩」。



第13回美葉祭にて展示発表を行いました。



理事長に「感恩」についてインタビューされました。  
 畑 瀬奈(はた せな)さん(前列左:感恩研究会部長 健康科学科2年)、関 舞(せき まい)さん(前列右:副部長 社会福祉学科2年)と江端理事長・学園長(後列右から2人目)

# 学園スタッフを紹介します

今回は、新たに着任された関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所の院長と事務長を紹介します。

Q1 お仕事の内容をお聞かせください。

Q3 趣味はなんですか？

Q2 お仕事を始められたきっかけを教えてください。

Q4 今後の抱負をお聞かせください。



関西福祉科学大学附属  
総合リハビリテーション診療所 院長  
保健医療学部  
リハビリテーション学科臨床教授  
三木 秀賢

A1 附属診療所で整形外科リハビリテーション科の診療をしております。

学生さん、教職員さんの健康の維持をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

A2 大学卒業後、大阪大学整形外科教室に入局し、主に股関節、膝関節の手術をしてきました。

昔から教職に興味があり、今回縁あって附属診療所で働くこととなりました。

A3 ダイビングが好きですが、あまり行けていません。ほかにテニスやスキーもやります。

今度は和太鼓をやりたいです。

A4 教職員、学生の皆様と楽しく、元気に過ごしていければいいなと思っております。よろしくお願いたします。



関西福祉科学大学附属  
総合リハビリテーション診療所  
事務長  
谷口 博仁

A1 受付から診療報酬の請求や職員の勤務管理・物品の請求など様々な仕事をしています。営業活動にも力を入れたいと考えております。

A2 病院に勤めるよりもより多くのことを吸収できると考えました。

A3 ゴルフです。10年近くやっていますがなかなか上手くなりませんが、ゴルフを通じて仲間が出来るのが楽しくてやっております。

A4 今後は、学園の皆さまはもちろんのこと、地域の住民の方に頼りにされるような診療所にしていきたいと考えております。



学校法人 玉手山学園  
関西福祉科学大学附属

総合リハビリテーション診療所

☆お問い合わせ☆

☎ 072-931-9970

柏原市旭ヶ丘3丁目11番37号

## 診療科目

■内科 ■整形外科 ■リハビリテーション科

## 診療時間

※土・日・祝日休診

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○		
14:00~17:00	○	○	○	○	○		



## ストレスチェックの実施について

教職員の皆様、ストレスチェック 受検していただきましたでしょうか？

ストレスチェック制度の目的の一つに、年に一度、ご自身のストレスに関する気づきの機会をもっていただくということがあります。セルフケアへのきっかけとして、今回受検されなかった方も、次回は是非受検をお願い致します。

法人本部 総務部(安全衛生委員会) 三本 幸智子

## 学園広報編集委員会

委員長 山口 美和 (大学社会福祉学部)

委員 山本 円香 (大学事務局)

西岡 奈津美(大学事務局)

高橋 賢悟 (高等学校)

村井 恵 (幼稚園)

植田 陽 (法人本部)

早川 充昭(法人本部)

藤井 亮佑 (法人本部)

藤岡 英里花(法人本部)